

# COCニュースレター

Center of Community

NO. 2 平成 27 年 2 月 13 日

十文字学園女子大学地域連携推進機構  
(COCセンター)

新座市をキャンパスに! + (プラス) となる人づくり, 街づくり

KICK OFF!!

2/28 (土) 13:30~16:00

COC事業

## キックオフシンポジウム

### ふるさと新座館

- ◆基調講演 I 「新座市が進めるまちづくり」  
新座市長 須田 健治氏
- ◆基調講演 II 「COC 事業のめざすもの」  
文部科学省大臣官房審議官 (高等教育局担当)  
義本 博司氏
- ◆パネルディスカッション  
文部科学省大臣官房審議官 (高等教育局担当)  
義本 博司氏  
松本大学 総合経営学部教授  
木村 晴壽氏  
NPO 法人新座子育てネットワーク代表理事  
坂本 純子氏  
コーディネーター 地域連携推進機構 副機構長  
星野 敦子

きよく、  
かわいく、  
たくましく

プラスちゃんくらぶ  
始動!



応援よろしくね!



来場者には「プラスちゃんボールペン」をプレゼント♡

こんにちは、「プラスちゃんくらぶ」です。  
2014年10月10日に誕生した本学マスコットキャラクターのプラスちゃん。そのプラスちゃんと一緒に、様々な取り組みを始めました。  
桐華祭でのお披露目、「プラスちゃんくらぶ」の組織づくりからスタートし、現在では様々な学科の学生10名程度で活動を行っています。

クリアファイルや付箋紙のデザインを行い、続々とグッズが出来上がってきています。

そして、ついに先日、**プラスちゃん着ぐるみ**も完成! クラブのメンバーでこっそり? 決めポーズの練習に励む日々です。

#### COCキックオフシンポジウム

地域デビューのプラスちゃん。「プラスちゃんボールペン」の配布も行います。皆さんと一緒に大学と地域を盛り上げるため、かわいく、でも全力で活躍するのがプラスちゃんの夢(プラスちゃんは夢見る乙女)。  
応援よろしくお祈りします。



皆様のご参加をお待ちしています

## COC事業 TOPICS

### 学生向けにワークショップ開催 あなたの恋は大丈夫?

1月24日、本学でデートDVの予防・啓発を目的とするワークショップを開催した。

講座ではロールプレイや本学学生が制作したポスターの紹介、クイズアプリを体験。またNPO法人青い空から講師を招き「もしあなたの友人がデートDVをされていていたら/していたら」という想定でサポートの仕方や相談先の紹介もあった。

参加学生からは「身近であったできごとがデートDVだと知って驚いた」、「自分らしさを尊重することは、一人ひとりが自分らしく生きていくために必要であると感じた」といった感想が寄せられた。

「ひとりでも悩まないで」というメッセージが心に響いた講座となった。

3月8日に、にいざほっとぶらさ(志木駅隣接)で、市民を対象にしたワークショップを開催する。



研究テーマ「人権啓発・デートDV予防ワークショップ実施」  
(代表: 亀田 温子教授)

### 新座市と神川町の女性農業者が交流 それぞれの特産品で料理も披露

都市部と農村部の女性農業者が意見交換し、農業をめぐる問題解決のきっかけにしようと、新座市と神川町の女性農家による交流会が1月25日、神川町の定住促進センター「ステラ神泉」で開かれた。本学のボランティアサークル「ソウキリンくらぶ」が企画し、同クラブの学生3名と星野敦子教授、星野祐子講師、福島聡プラスキャンパスプロデューサーが神川町を訪問した。

新座市で農業体験塾を運営する河合美津子さんら女性農業者6名、神川町で農業を営む小島文子さんら女性3名、有機の郷推進協議会の石井清允さん、地元で有機醤油などを製造するヤマキの社員らと意見交換。新座市で収穫したニンジンや神川町の手作りコンニャクなどそれぞれの特産品を持ち寄り、ニンジンご飯、味噌おでん、けんちん汁、白和えなどを一緒に作り交流も行った。

さらに体験談や農業へのこだわり、苦勞などをきき参加者全員で都市と農村のコラボレーションの可能性などさまざまなアイデアを出し合った。



研究テーマ「観光型農業経営における女性支援」(代表: 大友由紀子教授)

# 地域志向教育研究ご紹介

採択された42のテーマについて順次ご紹介していきます

シリーズ

1

## 「佐藤ゼミ地域福祉活動（知的障害者余暇活動支援ボランティア）体験学習」

—地域志向教育推進費—

○代表者／佐藤陽教授（人間福祉学科）

○プロジェクト構成員／佐藤ゼミ（4年生7名、3年生6名）、人間福祉学科1年生4名、知的障害のある方々9名、ボランティアグループあひる7名

### ○取組概要

知的障害のある方々の余暇活動支援活動を富士見市ボランティアグループあひると協働で行っている。クリスマス会をはじめとした交流イベントは、学生が企画から行い、実施後のふりかえりまでを行っている。それらを行うには、ボランティアの方々や知的障害のある方々、またその保護者とも直接お話をすることが必要であり、これらは企画力、調整力が身に付くだけでなく、なによりも障害に対する理解につながっている。この活動により、学生は地域の方々から多くを学んでおり、また交流の機会を持てたことに保護者からは喜びの声を頂いている。

今後はこうした活動をさらに活発化し、知的障害のある方々のニーズに、より応えられるよう地域福祉に貢献していきたい。

地域の方々との直接の触れ合いを大切にしよう。学生たちの理解を深め、さらには企画力、調整力を身につけよう！

シリーズ

2

## 「地域との連携活動を通じた地場野菜の有効活用」

—地域連携創造・支援事業—

○代表者／小林三智子教授（食物栄養学科）

○プロジェクト構成員／小林ゼミ（4年生3人、3年生3人）、尾崎農園尾崎千恵子様、新座市商工会事務局長山野辺範一様、鴨下澄子有期助手（食物栄養学科）

### ○取組概要

今年度で9回目を迎えた「すぐそ新座発見ウォーキング」事業。初回から9年連続で参加し、新座市のにんじんをはじめ地場野菜を活用したスイーツの販売を行っている。新座市内の農家である尾崎農園にご協力頂き、種まき、間引き、収穫を実施。開発したレシピをもとにスイーツを作り、地域の方々への販売まで学生が担当する。そのため、トータルに体験・学習することができ、新座を学ぶ良い機会にもなっている。また、この体験がそのまま活かせる職場へ就職した卒業生もいる。

これまでに開発したレシピ数は80品ほどに及ぶが、これからも精力的にレシピを開発し、将来的には地場野菜を活用したスイーツによる町おこしを目指していきたい。

新座市内の農家で地場野菜の種まきからレシピ開発そして販売まで。スイーツによる町づくりを目指して！

## 【COCおよび関連事業・今後の予定】

- |         |        |   |                                |
|---------|--------|---|--------------------------------|
| 2/13(金) | 10:00～ | FD・SD活動「フリートークの会～ワールド・チョコレート・カフェ～」                | 742 教室                         |
| 13(金)   | 13:00～ | ヘルシーダンス 記念ホール1Fサブアリーナ（17、24日も開催。いずれも13:00～）       | （担当：飯田路佳准教授）                   |
| 16(月)   | 13:00～ | 地域創りの新たな視点を体感する（特別セミナー）—Studio-Lのコミュニティーデザインから学ぶ— | 753 教室（メイン講師：西上ありさ氏、担当：松永修一教授） |
| 19(木)   | 15:00～ | 第3回定例学習会並びに第14回大学問題研究会                            |                                |
|         |        | 「大学マネジメントの高度化と持続可能な地域づくりへの貢献」                     | 431 教室（講師：吉武博通氏、担当：石川敬史講師）     |
| 28(土)   | 11:00～ | 第1回COC事業に係る「参与会議」                                 | 教授会会議室                         |
|         | 13:30～ | COC事業キックオフシンポジウム「新座市をキャンパスに！+（プラス）となる人づくり、街づくり」   | ふるさと新座館ホール                     |
| 3/8(日)  | 10:00～ | ワークショップ「デートDVってなに？～思春期の子どものおとなが知っておくこと～」          |                                |
|         |        | にいざほっとぷらざ（講師：斉藤薫氏、堤暢子氏 担当：小林直美有期助手）               |                                |

※今後の予定がございましたら、COCセンターまでお知らせください！



お知らせ

2月16日、本学にて「地域創りの新たな視点を体感する—Studio-Lのコミュニティーデザインから学ぶ」をテーマにした特別セミナーを開催。平成26年度地域志向教育研究の一つ「ワークショップを用いた地域の課題解決と人材育成の手法に関する研究」（代表：松永修一教授）活動の一環で、地域創りのイノベーションについて学びます。学内だけでなく、県や新座市など行政関係者、市民の方々に参加を呼びかけています。皆様ぜひご参加を！